

整理番号	25-6	事務事業名	輪厚仁別線道路改築事業	作成部署	建設部土木課	電話	内線746
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名 齊藤順二	課長職名	深尾 壮	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H12	根拠法令等	道路法				
〃 終了予定年度	H17						
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	本路線は、羊ヶ丘通の延長上にあり、大曲工業団地への物流車両や通過車両が増加していることから、歩行者及び車両の安全で円滑な通行を確保する。						

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	高い都市機能を持ち、活力にあふれるまち	(第 5 章)
	節	道路と交通	(第 3 節)
	施策	市内幹線道路・生活道路等の整備	(第 1 施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	児童生徒・近隣住民及び本線を利用する通過車両	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	羊ヶ丘通の通過車両及び工業団地への物流車両の安全で円滑な走行や、児童・生徒及び住民の安全な歩行を確保する。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	現況測量・実施設計・用地確定測量(延長)L=1150m 道路改良・舗装工(延長)L=880m(幅員)車道W=6.00m+片歩道W=2.50m
		17年度	道路改良・舗装工(延長)L=270m(幅員)車道W=6.00m+片歩道W=2.50m

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金	26,400	25,000	33,000	
	道支出金				
	地方債	10,560	10,000	13,200	
	その他特財				
	一般財源	16,292	15,000	19,800	
	合計	53,252	50,000	66,000	0
人件費(概算)	人数(年間)	0.30	0.30	0.30	
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	2,700	2,700	2,700	0
総事業費 +		55,952	52,700	68,700	0

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	道路改良・舗装工	165m	200m	270m	
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	道路整備率	57%	77%	100%	
	(整備済延長/全体延長)	(650m/1150m)	(880m/1150m)	(1150m/1150m)	
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	道路整備1m当たり	339千円	264千円	254千円	
		(55952千円/165m)	(52700千円/200m)	(68700千円/270m)	

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等
 羊ヶ丘通の北広島～札幌間が平成13年12月に開通したことに伴い、交通量が急増しており整備促進について地元からの要望が強い。

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市道整備であるため、市で施工するのが妥当。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	円滑な通行や歩行者の安全が確保されることから適切である。また、地元からの要望が強い。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	目的を達成する手段としては適切である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	受益者負担はなじまない。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	安全で円滑な通行が確保される。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	事業実施にあたっては充分にコスト削減を考慮して設計を行っている。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	用地交渉が整ったことから、18年度施工分を前倒して実施し、平成17年度で事業を終了する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり